



取得難易度 ★★☆☆

民間資格

機械系のスペシャリストになりたい!

機械設計技術者試験(3級)合格講座

講座案内

機械設計業務は人間の創造力と技術・技能に依存するところが多く、機械設計技術者の能力の向上は重要な課題となっています。

この講座は、各種の機械装置の基本設計、計画設計、詳細設計に関する知識及び図面作成等の技能を養う講座で、機械を設計するのに必要な力学関連の知識、加工関連の知識、制御関連の知識など全般の基礎知識の習得を目的にした資格です。

講座募集要項

講座ガイドス：3年就職ガイドス

申込期間：6/22(水)～8/5(金)

定員：50名(最少開講人数：10名)

受講料：21,000円

(テキスト代を含む。受験料は別途必要。)

※後援会より運営費の一部が補助されています。

※[再受講者] 10,500円

※[一般] 30,000円

講師

機械製図	近藤 巖 講師
機構学・機械要素	近藤 巖 講師
機械力学	太田 年昭 講師
工作法	太田 年昭 講師
熱工学	中村 肇 講師
流体工学	野田 卓 講師
制御工学	尾形 和哉 講師
工業材料	太田 年昭 講師
材料力学	太田 年昭 講師
模擬試験と解説	近藤 巖 講師

試験ガイド

団体

目標試験日：11/20(日)

申込期間：掲示にてお知らせします。

受験資格：制限なし

受験料：6,000円

※後援会より補助を受けた場合の受験料

合格率：37.3%(2015年度全国平均)

合格発表：2017年1月下旬

※講座受講者の試験申込は講座の申込と同時にします。

開講日時

開講期間：8/22～11/5 全33コマ

日数	開講日	時 限	コマ数	内 容
1	8/22(月)	3～5	1～3	機械製図 ①投影法 ②断面法 ③寸法の記入方法 ④表面性状
2	8/23(火)	3～5	4～6	機械製図 ①寸法公差およびはめあい ②幾何公差 ③溶接記号 ④機械要素の製図他
8	8/25(木)	3～4	7～8	機構学・機械要素設計 ①材料の強さ ②ねじの設計 ③伝動軸の設計 ④軸受の設計
4	8/26(金)	3～4	9～10	機構学・機械要素設計 ①カムとリンク ②歯車の設計 ③その他機械要素部品の設計
5	8/30(火)	3～4	11～12	機械力学 ①静力学 ②動力学 ③まとめ
6	9/ 1(水)	3～4	13～14	工作法 ①工作法の分類 ②鋳造 ③塑性加工 ④溶接 ⑤切削加工 ⑥砥粒加工 ⑦特殊加工 ⑧表面処理 ⑨工作測定
7	9/ 2(金)	3～4	15～16	熱工学 ①基礎的な事項 ②熱力学第一法則および第二法則 ③完全ガス(理想気体)の状態方程式 ④定容比熱と定圧比熱 ⑤完全ガスの状態変化
8	9/ 6(火)	3～4	17～18	熱工学 ①オートサイクル ②カルノーサイクル ③逆カルノーサイクル ④熱移動
9	9/ 8(木)	3～4	19～20	流体工学 ①流体とは何か ②流体の運動 ③管の中の流れ ④ポンプ ⑤物体に作用する流体の力
10	9/ 9(金)	3～4	21～22	制御工学 ①自動制御とは何か ②ブロック線図による表現 ③フィードバック制御系の構成 ④制御の種類 ⑤伝達係数 ⑥システムのブロック線図
11	9/13(火)	3～4	23～24	工業材料 ①金属材料の密度 ②炭素鋼と熱処理 ③合金鋼 ④工具用材料 ⑤鋳鉄 ⑥アルミニウムとその合金 ⑦その他の金属 ⑧非鉄金属材料と新素材 ⑨金属の強化法 ⑩材料試験法
12	9/29(木)	5	25	材料力学 ①ひずみと応力 ②引張・圧縮 ③曲げ ④ねじり
13	9/30(金)	5	26	材料力学 ⑤はりのSFD・BMD ⑥曲げとせん断の関係 ⑦2軸応力基礎
14	10/ 6(水)	5	27	材料力学 ⑧はりのSFDとBMDその1
15	10/ 7(金)	5	28	材料力学 ⑨はりのSFDとBMDその2
16	10/11(火)	5	29	材料力学 ⑩曲げとねじり
17	11/ 5(土)	1～4	30～33	模擬試験と解説

1時限／ 9:00～10:30 2時限／10:40～12:10

3時限／13:00～14:30 4時限／14:40～16:10

5時限／16:20～17:50